

プロポーザル方式による特定結果書

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 業務名 | 令和7年度黒部川自然再生検討業務 |
| 2 所属事務所 | 黒部河川事務所 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日
または選定通知日 | 令和7年5月28日 |
| 5 公示日 | 令和7年5月7日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年7月2日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
【A社】日本工営(株)	×	貴社については評価の着目点のうち、「実施方針について」の「その他」および、「評価テーマについて」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【C社】(株)長大	×	貴社については評価の着目点のうち、「実施方針について」の「その他」および、「評価テーマについて」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【D社】いであ(株)	×	貴社については評価の着目点のうち、「実施方針について」の「その他」および、「評価テーマについて」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【E社】(株)東京建設コンサルタント	×	貴社については評価の着目点のうち、「実施方針について」の「その他」および、「評価テーマについて」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【F社】(株)建設環境研究所	○	

- (備考) 1 「特定されなかった理由」の欄には、非特定通知書と同様の内容を記載する。
2 「特定の有無」の欄には、特定された場合には「○」と記載し、選定されなかった場合には「×」と記載すること。
3 標準プロポーザルの場合は、「5 公示日」は技術提案書の提出要請日を記載する